




川越市産業振興ビジョン（令和4年度～令和7年度）
数値目標の進捗状況【令和4年度】

基本目標1 中小企業支援による持続化と就労環境の整備による雇用の安定

(1) 進捗状況及び傾向

項目		基準値※	実績値	実績値	実績値	目標値
進捗状況及び傾向		(R3)	(R4)	(R5)	(R6)	(R7)
創業支援件数 (件/年)		366	283			390
	創業支援等事業者における相談件数が減少傾向にあり、全体として減少している。					
開設事業所数 (件/年)		229 (H27)	202 (R2)			265
	新型コロナの影響がマイナスにもプラスにも働き、結果として減少している。					
川越しごと支援センターでの 就職件数/紹介件数 (%)		12.2	14.8			17.0
	紹介件数は減少したが、就職件数は増加しており、結果として割合が増加している。					

※川越市産業振興ビジョンでは「現況値」と表記。計画策定時における最新の値を掲載。

(2) 現状と今後の方向性

【基本施策1 中小企業の経営基盤の強化】

現状は、中小企業事業資金融資による中小企業者の経営の安定や向上、経営相談による資金繰りや開業についての相談対応、事業承継店舗改修等補助金による市内事業者の円滑な事業承継による商業の振興及び事業承継の際の事業者の負担の軽減、創業に関する相談窓口の設置及び創業支援に関するセミナーの開催などに加え、川越商工会議所と市が共同で作成している「経営発達支援計画」に基づいて川越商工会議所が経営発達支援事業を実施するなど、さまざまな形で支援を行っている。

今後は、それぞれの事業について制度の周知や見直しを行いつつ継続して実施するとともに、中小企業事業資金融資においては新型コロナウイルスに係る特例融資制度（無担保、無利子融資）の終了や返済と同時に返済計画を見直しする事業者の増加が懸念されているなど、外的な要因による影響も考えられることから、社会経済情勢及び国や県の動向などを注視しながら、中小企業の支援を行う必要がある。

【基本施策2 求職者の支援と就労環境の整備】

現状は、職業相談や職業紹介の実施及び就職面接会や就労支援セミナーの開催などによる就労支援、就労支援IT関連セミナー等の開催による職業能力の向上や開業の支援、地元で働きたい市民や学生に対する求人情報等の提供や地元企業との就職面接会の実施などにより求職者の支援を行うとともに、中小企業退職金共済掛金補助事業をはじめとする勤労者の福利厚生促進、労働法や労働安全衛生に関する知識の普及・啓発に係るセミナー等の開催により、就労環境の整備を行っている。

今後は、さまざまな関係機関との連携を図りつつセミナー等の参加者が増加するよう、求職者や勤労者のニーズを踏まえた事業等を行う必要がある。



【基本施策3 多様な働き方の支援】

現状は、労働者協同組合（ワーカーズコレクティブ、ワーカーズコープ）に関する相談や埼玉県及び関連団体との連携によるセミナーの開催による労働者協同組合の設立支援、「川越市キャリア&ライフサポーター共同宣言」の新設及び企業の登録やワーク・ライフ・バランスセミナーの開催によるワーク・ライフ・バランスの推進などにより、多様な働き方の支援を行っている。

今後は、それぞれの事業について制度の周知を行いつつ継続して実施していく。

基本目標2 商店街の魅力の向上とにぎわいの創出

(1) 進捗状況及び傾向

項目		基準値※	実績値	実績値	実績値	目標値
進捗状況及び傾向		(R3)	(R4)	(R5)	(R6)	(R7)
小売業商品販売額 (百万円/年)		347,887 (H28)	329,104 (R2)			347,887
	新型コロナウイルスの影響がマイナスにもプラスにも働き、結果として減少している。					
中心市街地の空き店舗数 (箇所/年)		75	73			60
	空き店舗への出店はあるが新たな空き店舗も生じ、結果として横ばいとなっている。					

※川越市産業振興ビジョンでは「現況値」と表記。計画策定時における最新の値を掲載。

(2) 現状と今後の方向性

【基本施策1 商店街と個店の活性化】

現状は、商店街振興促進補助によるイベント実施に係る費用負担の軽減及び商店街の賑わいの創出、共同施設の新設・改修及び街路灯電気料の一部補助による商店街地域の安全・安心な街づくりへの寄与に加え、空き店舗の活用に係る経費や賃借料の補助による新規出店及び空き店舗利活用の促進などに取り組んでいる。

今後は、商店街が主体的に取り組むことができるような共同販売事業等に対する支援、老朽化が進んでいる共同施設の計画的な改修、空き店舗情報の収集に努めるとともに、効果的かつ効率的な予算の確保を行う必要がある。

【基本施策2 魅力ある商店街の形成】

現状は、共同販売促進事業に係る費用負担の軽減による商店街の賑わい及び魅力の創出、ホームページ作成に係る経費の一部補助による商店街のICT化に係る費用の負担軽減及びこれに伴う商店街の積極的な情報発信の推進、各商店街が抱えるさまざまな課題に関する各種補助制度の案内などに取り組んでいる。

今後は、さらに魅力ある商店街の形成に向けて、商店街の主体的な取組への支援や情報提供、県の支援策に係る積極的な周知及び申請等に係る支援を行うとともに、商店街側の実態や消費者ニーズの把握に努める必要がある。



【基本施策3 効果的な支援に向けた取組】

現状は、国や県などの各種支援制度について市が積極的に周知及び申請書類の作成などの支援を行うなどの支援体制の強化を図るとともに、商店街振興促進補助に係る事業等に取り組んでいる。

今後は、こうした情報を分かりやすく伝えられるよう、市ホームページのレイアウト変更や紙媒体に加えてメールやSNSを有効活用した周知についても検討するとともに、商店街振興促進補助の活用により効果的に支援する必要がある。

基本目標3 企業誘致の推進等による産業競争力の強化

(1) 進捗状況及び傾向

項目	基準値※	実績値	実績値	実績値	目標値
進捗状況及び傾向	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)	(R7)
企業立地支援事業所の累計数（事業所）	8	8			10
 令和4年度に企業立地奨励金の新規申請が無かったため、基準値と同じとなっている。					
ものづくりブランド認定の累計数（件）	45	47			70
 令和4年度に新たに2件の認定を行っており、ほぼ横ばいとなっている。					

※川越市産業振興ビジョンでは「現況値」と表記。計画策定時における最新の値を掲載。

(2) 現状と今後の方向性

【基本施策1 企業誘致の推進】

現状は、市内で事業所の新設または拡張を行う企業に対する「企業立地奨励金」や「雇用促進奨励金」の交付による事業所の拡張や立地への貢献、地域経済分析システム「RESAS」を活用した政策立案ワークショップへの参加による本市の産業構造の分析及び新規企業立地・付加価値向上・流出防止の観点からの具体的な施策の検討を行っている。また、産業用地に係る情報を発信するとともに、企業立地に係る総合的な相談窓口を都市計画部などの用地に関わる部局と連携、情報共有する体制を構築している。さらに、企業が操業しやすい環境整備を支援するための「川越市工場立地法地域準則条例」を制定するなどにより、企業誘致の推進を図っている。

今後は、奨励金に係る要件等の見直し、「川越市企業立地推進基礎調査業務委託（令和5年度予定）」の実施、埼玉県企業立地課から定期的に提供される用地情報及び用地情報を持っている不動産業者等との連携等の検討などに取り組む必要がある。

【基本施策2 販路開拓・拡大の推進】

現状は、川越ものづくりブランドKOEDO E-PROに係る認定企業の発掘を継続して行い、多くの市内企業の製品・技術を認定している。また、認定製品等に係るPR補助を行うとともに、専門家の支援を受けた企業の海外への販路拡大、認定企業への取材及び記事掲載、求職者へのPRなども行っており、市内外への発信力も高まっている。

今後は、年々申請件数が減少傾向にあることから、制度の周知や企業の掘り起こしを行うとともに、認定企業においても認定製品等に係るPR補助を活用してもらえよう、サイトの認知度や活用度を高めるなど、PR方法を工夫する必要がある。また、ジェトロ埼玉貿易情報センターとの協働方法の検討や需要の確認を行う必要がある。


【基本施策3 環境の変化に対応する取組への支援】

現状は、DXに係る取組として、埼玉県DX推進支援ネットワークへ参画しており、参画している関係機関等からの情報共有を受けて、他機関が実施する事業等に関する情報提供を行っている。また、環境経営については、「エコアクション21認証・登録研修会」を開催して、参加事業者に認証登録を行っている。

今後は、市独自のDXに係る取組について、川越商工会議所などの関係機関との連携を図りながら、検討・実施していくとともに、事業者ごとに抱える課題が大きく異なることから、それぞれの課題に応じて求めている情報を事業者等への的確に伝える必要がある。また、「エコアクション21認証・登録研修会」を引き続き開催し、参加事業者数の確保及び認証取得事業者の増加を図る必要がある。

基本目標4 産業間連携と地域資源の活用等による新たな価値の創造

(1) 進捗状況及び傾向

項目	基準値※	実績値	実績値	実績値	目標値
進捗状況及び傾向	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)	(R7)
市内総生産額 (億円/年)	12,610 (H30)	12,705 (R2)			13,008
 新型コロナの影響がマイナスにもプラスにも働き、結果としてやや増加した。					

※川越市産業振興ビジョンでは「現況値」と表記。計画策定時における最新の値を掲載。

(2) 現状と今後の方向性

【基本施策1 産業間連携の推進】

現状は、「おいしい川越農産物提供店」の認定に係る取組として「くらしをいどころfarmer's market」出店者説明会における制度説明や新たな認定店舗に対するロゴグッズの提供を行っている。川越市産業観光館（小江戸蔵里）では、地域ではぐくまれた農産物等の食材を使用した食の提供や特産品の提供を行っている。異業種交流の促進については、かわごえ産業フェスタへの出展を通じた異業種交流の促進を図った。かわごえ産業フェスタについては、商業、工業、農業、観光に関わる団体や企業が出展し、さまざまな業種の事業者が交流できる場を提供した。

今後は、「おいしい川越農産物提供店」については、より多くの方に知ってもらうための更なる周知を行うとともに、認定制度のブラッシュアップを図り、認定店がよりメリットを享受しつつ、川越産農産物のPRにつなげていく必要がある。川越市産業観光館（小江戸蔵里）については、地産地消の推進を図ることができるイベントの開催等について指定管理者へ働きかける必要がある。異業種交流については、どのような異業種交流が可能か検討する必要がある。かわごえ産業フェスタについては、開催内容の見直し及び費用の削減など、効果的な開催に向けて検討する必要がある。

【基本施策2 地域資源の活用】

現状は、彩の国工場に指定された市内工場を体験型観光の推進に展開できるよう市HPにて発信しているものの、工場見学の実施には至っていない。地域資源の発掘・情報発信については、小江戸川越の優れた素材、技術などを活かし、川越らしい本物にこだわった魅力ある地域産品を小江戸川越観光協会が所管している「川越セレクション」の中で認定し周知することで、川越全体のイメージの向上、地域産品の向上及び普及や新たな地域産品の開発を促している。川越産農産物のブランド化については、市内外で開催される「ファーマーズマーケット」への出店や「くらしをいどころfarmer's market」への開催協力、川越産農産物PRポスターの掲示やロゴグッズの配布などにより、周知や啓発に取り組んでいる。





今後は、工場見学が実現されるための検討を進める必要がある。地域資源の発掘・情報発信については、「川越セレクション」の認定について観光協会会員への認知向上などに取り組む必要がある。川越産農産物のブランド化については、一時的な売上の向上ではなく、継続的な川越産農産物の評価や消費につながるような取り組みとしていく必要がある。

【基本施策3 関係機関との連携】

現状は、各々の施策の推進や事業の実施にあたり、これまで連携してきた関係機関等だけでなく、新たな相手方との連携を図ることができている。

今後も、さまざまな関係機関との連携を図りつつ、複数の関係機関との連携（例：産学官金連携、農商工連携など）を進めていく必要がある。

【進捗状況及び傾向】

傾向				
内容	目標値に到達または目標値を超えて進捗	目標値に向かって順調に進捗	基準値と変わらないまたはほぼ横ばいで進捗	基準値より悪化または減少して進捗